

運営推進会議開催報告書

事業所名 グループホームねこの手

開催日時 令和 2年 11月26日 (木) 13時30分～14時00分

参加者

利用者	0名	利用者家族	1名	地域代表者(民生委員含む)	0名
市職員	1名	地域包括支援センター職員	1名	薬剤師	1名
事業所	3名				

会議録

議題

1、入居者状況報告

9月 入居者9名 (女性) 平均介護度 3.6
9月7日 老衰の為逝去 女性 介護度 5 看取り
介護度別利用者数については別紙参照

10月 入居者8名 (女性) 平均介護度 3.5
介護度別利用者数については別紙参照

2、行事

9月行事・・・9月生まれの方誕生日会
フレンチトースト シロノワール作り (9月9日)
瀬戸・旭看護学校より実習生 10/1 (2名) 10/13 (2名) 10/22 (2名)
外部評価 10月16日 (金)

3、身体拘束について

現在、身体拘束を行っている入居者様はいません。自己にて指で身体を掻き出血し傷を作ってしまう方が1名みえます。顔や頸周囲に引っ掻き傷を作ってしまうため、綿の手袋(5本指)を装着し傷つけないよう工夫し、拘束を実施せず観察、対応しています。
施設内研修で身体拘束をテーマにスタッフ内で意見交換を行った内容を推進会議のメンバーに報告し意見を求めた。メンバーの皆様からは「ご家族にはつたえてありますか?」「必要以外の時間は外すことも必要である。」との回答を頂きました。

4、その他

推進会議出席の皆様からのご意見等

家族代表より コロナ禍により面会できない中で、「以前、母に面会したら私がいなかった。」と認知症の進行を心配される。明確な返答はできず、進む可能性もあるのかもしれないと説明する。

包括より コロナ禍で面会の制限がある中、入居者様と家族様との接し方はどの様にしているかと質問を頂く。玄関にてガラス扉越しに面会されたり携帯電話やタブレット端末を活用して話をされる。

市職員より 防災時のマニュアル作成について問いかけを頂く。
確認し、未作成の物は早急に提出予定。

薬剤師より 今回より当事業所の内服薬の調剤、管理を行っている薬剤師が出席して頂ける事になりました。乾燥肌や肌荒れについての質問に対し回答を頂く。塗布薬は乾燥と肌荒れで違う為、まずは受診をして頂きたい。掻き傷、乾燥、肌荒れ等、どのタイミングや順序、塗布方法等効果的な使用方法を教えてください。

次回の推進会議は令和3年1月21日(木)を予定しております。